



年 組 名前

道新でワークシート

ひらふ地区事業者 従業員のごみ処分

【倶知安】後志管内倶知安町は13日、世界的スキーリゾート地であるひらふ地区の3町内会で、宿泊施設などの従業員が出す家庭系ごみの収集をやめた。事業者にごみ処理を独自で行ってもらおう。ごみがほとんど分別されずに出されることに困った町が取った苦肉の策だが、観光関係者からは不法投棄の増加などの懸念も出ている。

対象となるのは、リゾート地域の中心にあるひらふ第1〜3町内会内のごみ収集。町は、同地区の事業者が従業員のために設置、借り上げたアパートなどから出るごみは「事業ごみ」と見なし、事業者が自ら町内の処分場に捨てに行くか、処理業者に回収してもら

倶知安町、分別不十分で回収せず

う方式に改めた。ごみステーションはすべて撤去した。そのほかの住民は、町が自宅前で個別に収集する。



①「新ルール」とはどのようなルールですか。「事業者」「事業ごみ」という言葉を必ず使って、40字程度で書きなさい。

②英語表記の看板（写真）も設置されている理由を記事の中から探して答えなさい。

3町内会では冬のスキーシーズンに分別されずに出されるごみの処理が問題となっている。第1町内会の人口は夏は180人ほどだが、冬は600人を超え、うち8割を外国人が占める。町は「日本語のルールが理解できないことなどが原因では」とみる。

事業者側にとっては負担増になるが、大手の事業者は新ルール導入前から自社でごみ処分に取り組んでおり、大きな混乱は起きていない。一方、ある不動産管理業者は「近くの山林に捨てられる量が増えるだけではないか」と指摘する。町は来春まで新ルールを試し、来冬は対応を改めて検討する。

ごみステーションの撤去を知らせる看板、リゾートの開発が進む一方、分別されずに出されるごみの処理が問題になっている―倶知安町

2016年12月14日朝刊総合面